

調査目的・これまでの経緯

府中市では、平成26年度より実施している「けやき並木通り周辺地区道路等包括管理委託(以下、「現行包括管理事業」という)」の効果を検証し、将来的な「包括管理事業」を検討した。

平成22年度 : 公共施設マネジメント白書策定

平成23年度 : 道路施設包括管理検討事業調査実施

平成24年度 : 府中市インフラマネジメント白書・計画策定

平成25年度 : 「現行包括管理事業」 事業者選定

平成26年度 : 「現行包括管理事業」 開始(～28年度末)

施設の概要

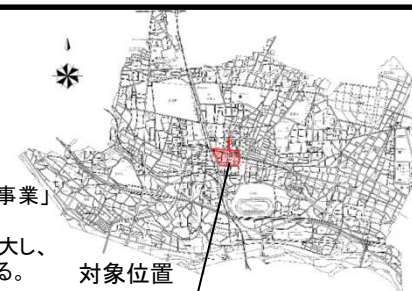
対象範囲面積: 約18.8ha

対象道路: 市道19路線

対象道路延長: 3,464m

※対象位置は、「現行包括管理事業」の対象範囲を示している。

※本調査により、対象エリアを拡大し、将来的には市全域を対象とする。



調査結果

1. 「現行包括管理事業」の中間評価結果

中間評価結果より、次の課題が明らかになった。

- けやき並木(天然記念物)は、民間事業者ノウハウが活用できない
- 市が意図する要求水準が、事業者と共有できていない
- 性能発注の特性を活かしきれない部分がある

2. 包括管理事業の本格実施に向けた検討

中間評価結果を踏まえ、「包括管理事業」の事業手法を検討した。

【検討結果】

- 対象施設・作業を拡大、市内を複数分割して実施
- 業績を支払額に反映する仕組みを導入、適切なモニタリングを実施
- 任意事業として、収益事業を実施する仕組みを導入
- 地元企業の参入を促すため、入札時の評価基準を見直し、地元企業を対象とした情報共有の場の構築を支援
- 許認可や料金徴収業務を含む場合は、指定管理者制度。含まない場合は、包括的民間委託での導入を行う
- 財政削減効果は約7.4% (維持管理費削減率10%の場合)の見込み

【作成資料】

- 実施方針素案、業務要求水準書素案、モニタリング基本計画書素案

表 「将来包括管理事業」の内容

事業種別	対象	内容
維持管理	道路	巡回業務、維持業務、事故対応業務、災害対応業務、苦情・要望対応業務、占用物件管理業務、法定外公共物管理業務
	公園	巡回業務、維持業務、補修・修繕業務、事故対応業務、災害対応業務、苦情・要望対応業務、ごみ回収運搬・処理業務
補修更新	道路	補修・更新 他
任意事業		ネーミングライツ、スポンサー制度、イベント等

3. 次期包括管理事業の具体化

平成28年度から開始を予定する「次期包括管理事業」の実施に必要な準備を行った。
【検討結果】

- 対象作業は修繕工事を含める
- 市内を複数分割し、現行「包括管理委託」範囲を含むエリアで実施
- 財政削減効果は5.7% (維持管理費削減率10%の場合)の見込み

【資料作成】

業務要求水準書(案)

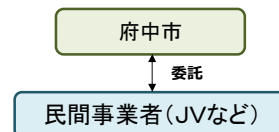


図 次期包括管理事業イメージ

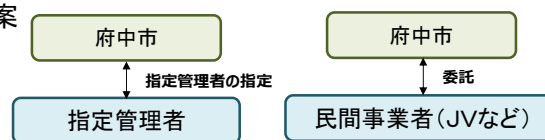


図 将来包括管理事業イメージ (維持管理・補修更新・公園管理業務を実施) 図 将来包括管理事業イメージ (維持管理・補修更新業務を実施)

今後の展望

● 今後の予定

【平成28年】

- 次期包括管理事業公募開始

【平成29年】

- 3月: 現行包括管理事業終了
- 4月: 次期包括管理事業開始

【平成32年】

- 3月: 次期包括管理事業終了
- 4月: 将来包括管理事業開始

● 包括管理事業の今後の展望

包括管理事業の今後の展望は、次のとおりである。

- 公園長寿命化計画と連動し、包括的に維持管理が可能な公園施設については、包括管理事業に含めることを再検討する
- 包括管理事業に含めることで、効率的・効果的な維持管理が可能になるものを追加し、拡大を図る
- 包括管理事業を徐々に拡大することで、更なる「市民サービス向上」「維持管理費削減」を目指す